

# 薬剤部だより No.240

山口大学病院薬剤部 2010.1.20



## タクロリムスの測定法を変更

薬物血中濃度測定器(アーキテクトi1000SR)への移行の準備が整いました。従来の測定試薬がなくなり次第(予定では2月初め)、タクロリムスの測定法が変わります。提出血液量、採取スピッツ等に全く変更点はありません。よろしくお願い致します。

## ストック補充が完全復旧

新システム導入後、ストック使用量と薬剤部からの補充量が一致していない場合がありますが、12月から改善されています。病棟へは土日に関わらず、毎朝補充されますので、時間外はストックをご活用下さい。

## 患者情報の入力に正確に

先日、患者身長データに予定外のデータ(整数5桁)が存在したため、部門システムが停止しました。現在対応中ですが、同様の現象を防止するため、身長など患者プロフィール情報は正確に入力して下さい。

## 時間外処方の日数入力

時間外処方の日数入力についての問い合わせ電話が多く、対応に苦慮しています。下記の処方例を参考にオーダしていただくようお願い致します。

退院処方の場合は時間外のタブにチェックを入れて下さい。

定期処方	臨時処方	退院処方	麻薬入院処方	臨時予約処方	入院時間外処方	持参薬指示
		<input checked="" type="checkbox"/> 時間外				

時間外の処方原則3日分までとなっています。しかし長期連休などにより4日以上の場合、以下の長期コメントを選択して下さい。

Rp	選択薬品	数量	単位	
1	ロキソニン錠 60mg	3	錠	変更
	1日3回 食後	4	日分	変更
	2010/01/18(月)			
1	調剤指示	1	症状が安定の為長期投	
2	情報提供	2	年末年始のため	
3	依頼場所	3	長期連休のため	
4	部位指示	4	海外渡航のため	
5	頓服指示	5	翌週が休みのため	
6	その他	6	定期処方にあわせるため	
7	長期投与			

## 「製剤室にて混注」の抗がん剤投与中止の連絡は速やかに!

昨年、製剤室で混注した後に返却され廃棄処分となった薬剤は20処方あり、薬剤費にすると315,828円の損失でした。これらは、病棟から薬剤部への中止連絡が遅れたことによるものがほとんどを占めています。中止の連絡ミスは、薬剤費の問題だけでなく、誤投与を引き起こすなどリスクマネジメントの観点からも大変危険です。そのため「製剤室にて混注」依頼の際には、以下の点にご注意下さい。

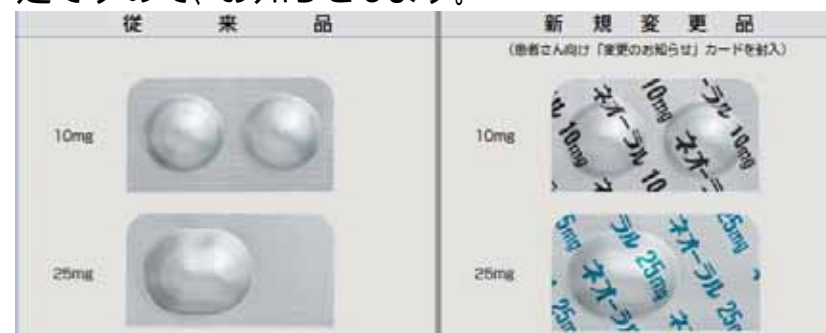
投与中止や投与量変更等の連絡は、速やかに行ってください。  
血液検査後に実施を検討するなど、変更の可能性がある場合には、連絡後調製する旨を前日までに連絡(製剤室:2666)するか、「結果確認後連絡します」などのコメントを入れて下さい。  
オーダ時に正確な実施時刻を入力してください。

## ラミクタール錠の長期投与が可能になりました

ラミクタール錠は、薬価収載(2008年12月)から1年が経過したため、投与日数の制限が解除され、長期投与(90日処方)が可能になりました。

## ネオーラルカプセルのデザインが変更される予定です

ネオーラルカプセルの識別向上のため、PTPシートのおもて面に製品名が表示されることになりました。うら面の表示変更はありません。在庫が無くなり次第変更される予定ですので、お知らせします。



## 削除薬・名称変更のお知らせ

- カプトリル錠 12.5mg の在庫がなくなったため、12/21でオーダ中止。
- セルタッチ 7枚/袋がセルタッチパップ 70 7枚/袋に名称変更されました。

本年もよろしくお願い致します 薬剤部一同